

●施策名

【施策10】家庭における教育を支援します

(関連指標：指標43～指標45 (P56))

- i 子育てに関する学習機会等の充実
- ii 家庭教育力向上のための支援体制の充実
- iii 学校と家庭の連携の促進

●代表的な取組の進捗状況

i 子育てに関する学習機会等の充実

子どもと大人が家庭や地域の中で感じたことを十七文字の作品にする「十七字のふれあい事業」における応募数は36,055組、前年度比100.0%でした。平成14年からの応募総数は、354,699組で、延べ人数709,398人が参加しています。

県内の各地区において、幼児から高校生まで幅広い年齢層にわたる参加が見られます。



「十七字のふれあい事業」表彰式

ii 家庭教育力向上のための支援体制の充実

子どもをはぐくむ地域実践プロジェクトの中でブロックセミナーを県内7地区で各1回実施し、673名が参加しました。また、地域子育てサポートチーム養成研修会を県内7地区で実施し、全体研修会に164名、地区別研修Aに216名、地区別研修Bに215名が参加しました。そして、全講座数の7割を受講した方95名に修了証を交付しました。



地域子育てサポートチーム養成研修の様子

iii 学校と家庭の連携の促進

東北ブロックPTA研究福島大会、高等学校PTA連合会いわき大会、特別支援学校PTA連合会大会等において、各分科会の指導助言者を派遣するなどPTAの運営等について支援を行いました。

●問題点・改善等が必要な項目

- ・ 家庭教育に関する学習の場への参加が保護者全体に広がっていない。

●取組の方向性

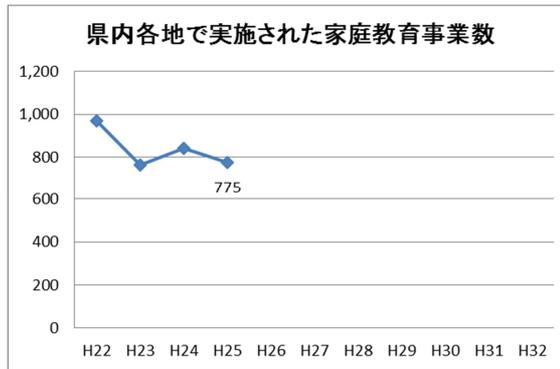
- ・ 多くの保護者が、子育てや家庭教育に関する正しい知識、正確な情報を得ることができるよう、PTAや家庭教育インストラクター等の関係団体、また関係機関と連携を深めながら、学習機会の充実を図ります。

● 主な指標の状況

・ 指標 1

県内各地で実施された家庭教育事業の数

現況値 775 事業
 年度別目標値 増加を目指す
 評価 順調ではない



① 評価の理由

平成25年度の事業数は前年比92%となり、増加傾向にあるとは言えないため。

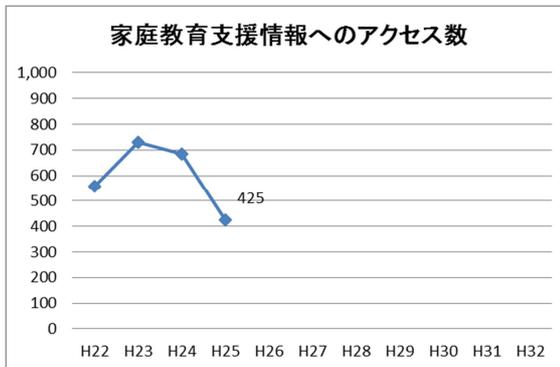
② 今後の取組

人材養成セミナー等の研修会を実施し、講座が起こしやすい環境を作るとともに、家庭教育力の向上や様々な家庭が抱える悩みに対応できるような事業を開催していく。

・ 指標 2

家庭教育支援情報へのアクセス数
 (福島県教育委員会ホームページ)

現況値 425 回
 年度別目標値 増加を目指す
 評価 順調ではない



① 評価の理由

平成25年度のアクセス数は前年比62%となり、減少傾向にあるため。

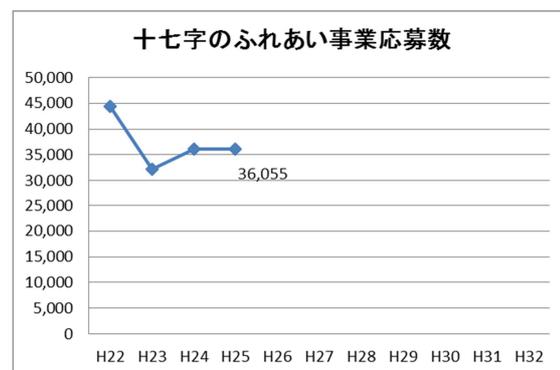
② 今後の取組

震災以降継続して家庭教育に関する情報が求められており、家庭教育力の向上や様々な家庭が抱える悩みに対応できるよう最新の内容をホームページに掲載していくとともに、情報発信の仕方を工夫する。

・ 指標 3

十七字のふれあい事業の応募数

現況値 36,055 組
 年度別目標値 増加を目指す
 評価 おおむね順調



① 評価の理由

震災時までは回復していないものの、昨年度の水準を維持しているため。

② 今後の取組

選考基準の見直しや、広報活動の方法を工夫しながら、少しでも多く参加させる手立てを講じていく。